

特定保守管理医療機器

クリーンサンソ FH-710

**【警告】**

**使用方法**

- \* 運転中や機器停止直後は絶対に火気を近づけないでください。高温の場所や燃えやすい物があるところでは使用しないでください。外したマスク、およびチューブ類を裸火に近づけないでください。  
[火災・火傷の恐れがあります。]

**【禁忌・禁止】**

**適用対象（患者）**

- ・ 生命維持のために酸素吸入を必要とする患者には使用しないでください。  
[本装置は生命維持を目的とした機器ではありません。]
- \* 酸素療法を処方された患者以外には使用しないでください。  
[健康被害の恐れがあります。]

**併用医療機器**

- \* 磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）と併用しないでください。  
[MRI 装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。]「相互作用の項参照」
- \* 電気手術器（電気メス）と併用しないでください。  
[電気メスから発生する高周波エネルギーによって本装置が誤動作したり、故障したりする恐れがあります。また、マスク、またはチューブ類周辺が高濃度酸素雰囲気となっていることがあり、爆発または延焼の恐れがあります。]「相互作用の項参照」

**使用方法**

- ・ 停電や故障時の対応のため、緊急用酸素ポンペを備えてください。  
[酸素を吸入できない恐れがあります。]
- ・ 酸素ポンペは非常用として用い、本装置と併用して使用しないでください。  
[酸素の供給に過不足を生じる恐れがあります。]
- ・ 麻酔薬、水素など可燃性および引火性の気体・液体を使用するところでは使用しないでください。  
[爆発や火災の恐れがあります。]

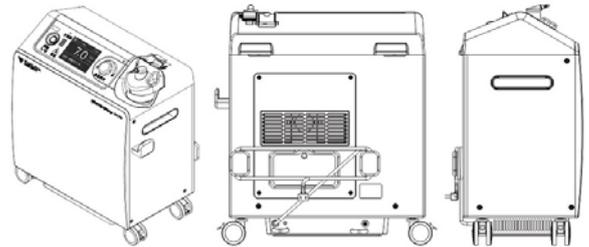
**【形状・構造及び原理等】**

本装置は、医師の処方および指示に従って使用される酸素濃縮装置であり、主に在宅酸素療法を必要とした患者が特定施設内または家庭環境において使用できる装置です。吸着筒を用いて周囲の空気から窒素を分離することにより、在宅酸素療法を意図した療養者へ必要量の高濃度酸素ガスを連続的に供給します。  
また、本装置が酸素供給中に停電を検知した場合、または装置異常により酸素の生成が停止し供給が途切れた場合には、酸素ポンペ接続口からの流路を開放してポンペより酸素を供給する流路に切り替える機能を備えています。

**形状**

- 1.外形寸法：(幅) × (奥行) × (高さ)  
500mm × 300mm × 600mm 寸法公差 ± 10%
- 2.質量  
39kg ± 10%

3.外観



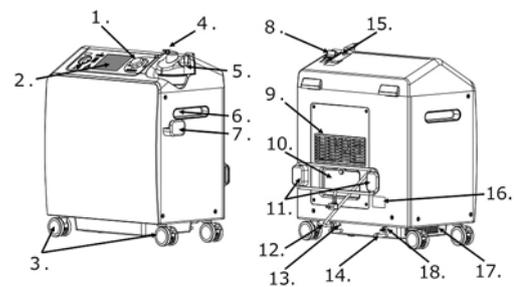
前面

背面

側面

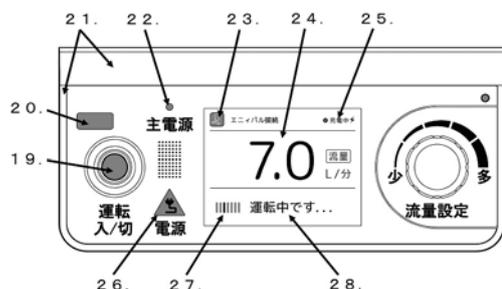
**構造・構成ユニット**

1.各部の名称  
外筐



番号	名称
1.	流量設定スイッチ
2.	LCD (タッチパネル)
3.	キャスター
4.	酸素出口
5.	加湿器
6.	取っ手
7.	チューブ掛け
8.	ロックレバー
9.	空気取り入れ口
10.	ダストボックス
11.	電源コード掛け
12.	電源コード
13.	ブレーカ
14.	ガード
15.	エンイバル接続口 (USB コネクタ)
16.	定格銘板
17.	排気口
18.	酸素ポンペ接続口

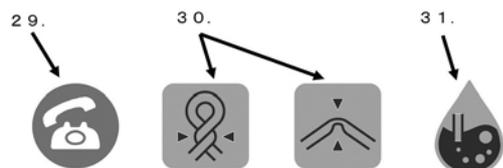
**操作面**



**取扱説明書を必ずご参照ください。**

番号	名称
19.	運転スイッチ
20.	赤外線受光部
21.	警報ランプ
22.	主電源ランプ
23.	エニパル接続アイコン
24.	設定流量表示
25.	エニパル充電アイコン
26.	電源異常ランプ
27.	酸素流れ表示とアイコン表示エリア
28.	動作状況案内表示

### アイコン



番号	名称
29.	連絡アイコン
30.	チューブ点検アイコン
31.	加湿器アイコン

#### 1.付属品

- ・本装置と組み合わせて使用できる製品には次の物があります。
- ・同梱されている付属品の品目は、取扱説明書をご覧ください。

#### (1)付属品

- ・加湿器 OHD-710

#### \*\* (2)医療機器

付属品	承認 / 認証 / 届出番号
アトム酸素鼻孔カニューラ (ソケット(S))	21900BZX00686000
アトム酸素鼻孔カニューラ (ソケット(M))	21900BZX00686000
アトム酸素鼻孔カニューラ (ソケット(L))	21900BZX00686000
アトム酸素鼻孔カニューラ (ソケット(成人用))	21900BZX00686000
アトム酸素鼻孔カニューラ (ソケット(小児用))	21900BZX00686000
オキシジェンカニューラ	22000BZX01573000
オキシマイザー	22100BZX00505000
コンサービングカニューレ	22100BZX00506000
オキシマイザーペンダント	22100BZX00506000
ニッセイ酸素鼻孔カニューラ (OX-1S)	21900BZX00688000
ニッセイ酸素鼻孔カニューラ (OX-1M)	21900BZX00688000
ニッセイ酸素鼻孔カニューラ (OX-1L)	21900BZX00688000
アトム酸素フェースマスク成人用	21900BZX01122000
アトム酸素フェースマスク成人用 / コンデンサーバック付	21900BZX01122000
アトムベディマスク OX-130	21900BZX01121000
呼吸療法システム (酸素供給チューブ タイプ 3400)	21100BZY00027000
呼吸療法システム (酸素供給チューブ タイプ 3402)	21100BZY00027000
オキシジェンチューブ フレアコネクタ	22000BZX01576000
シリコーンコネクティングチューブ	21800BZX10024000
カニューラ中継コネクタ RJ-10	22000BZX00039000

付属品	承認 / 認証 / 届出番号
高圧ガスレギュレータ グリーンバルブ	11B3X00052060301
高圧ガスレギュレータ 圧力計付医療用酸素圧力調整器 MORG	20B2X00025000005
経鼻用酸素鼻孔カニューレ OX-01 延長チューブ (酸素ポンベ接続用チューブ)	21900BZX00688000
エニパル	222ADBZX00026000
エニパル ATP-03	227ADBZX00023000

#### (3)非医療機器

- ・取扱説明書
- ・説明シート
- ・マット
- ・酸素濃縮装置用リモコン (FHR-100)

#### \*\*動作保証条件

- ・動作温度 : 5℃～40℃
  - ・動作湿度 : 30%～75%RH (結露無きこと)
- 注：本装置は室内に置き、使用してください。

#### \*性能

##### 酸素流量

設定値	許容誤差
1.0L/分	1.0L/分±0.2L/分
1.5L/分	1.5L/分±0.2L/分
2.0L/分	2.0L/分±10%
2.5L/分	2.5L/分±10%
3.0L/分	3.0L/分±10%
3.5L/分	3.5L/分±10%
4.0L/分	4.0L/分±10%
4.5L/分	4.5L/分±10%
5.0L/分	5.0L/分±10%
6.0L/分	6.0L/分±10%
7.0L/分	7.0L/分±10%

##### 酸素濃度

設定値	許容誤差
1.0L/分	90%-3%+6%
2.0L/分	90%-3%+6%
3.0L/分	90%-3%+6%
4.0L/分	90%-3%+6%
5.0L/分	90%-3%+6%
6.0L/分	90%-3%+6%
7.0L/分	90%-3%+6%

#### 機能

- ・本装置は、周囲の空気から窒素を分離することにより酸素分圧の高い空気を作り出します。
- ・本装置の稼働積算時間を計測し、メンテナンスモード時のLCDに積算時間表示を行います。この積算時間は、リセットできません。
- ・電源供給状態を監視し、電源供給が停止した場合には、電源異常ランプの点灯と警報ランプの点滅、ブザーを鳴らすことにより、警報を発生させます。
- ・濃縮酸素の流量や圧力、濃度をセンサで計測して、規定された範囲から逸脱した場合には、警報を発生させます。警報には、加湿器の取付けが正常でない場合の加湿器アラーム、チューブの閉塞などで酸素ガスが供給できない場合のチューブ点検アラーム、その他、装置の異常を検出したときの連絡アラームがあり、アイコンや警報ランプ、ブザー音および音声アナウンスを組み合わせでお知らせします。

## 付帯機能

本装置の付帯機能として以下があります。

付帯機能	内容
通信機能 (Bluetooth®通信)	本装置の運転情報と発生した警報情報などを当社指定の外部機器に Bluetooth®で通信する機能です。
通信機能 (赤外線通信)	リモコンからの赤外線通信により設定流量の変更、運転 ON/OFF 等を行うことができる機能です。
通信機能 (USB 通信)	エニィパルを USB コネクタに接続して本装置の運転情報を通信する機能です。エニィパル接続時には、エニィパル接続アイコンが表示されます。
エニィパル充電機能	エニィパルが USB コネクタに接続されると充電を行う機能です。充電時には、エニィパル充電アイコンが表示されます。
表示明度調整機能	輝度センサで周囲の明るさを検出して、本装置の表示光強度を調整する機能です。
音声ガイダンス機能	流量設定などの装置の状態や警報の状態をスピーカから音声で知らせる機能です。
流路切替機能	停電や装置異常の時に、酸素ポンペ接続口に接続された酸素ポンペからの流路に切り替える機能です。

## 作動・動作原理

本装置は、コンプレッサにより室内空気を、ゼオライトが充填された吸着筒に送り、連続的に高濃度の酸素を取り出す装置で、空気を加圧するためのコンプレッサ、回路を切り替えるための電磁弁マニフォールド、ゼオライトを充填した吸着筒、生成した酸素を一時的に蓄える製品タンク、回路内圧監視の製品タンク圧力センサ、マスク、またはカニューラや延長チューブと加湿器の状態を監視するチューブ圧センサ、酸素流量の調節と酸素濃度を監視するマスフローコントローラ（ガス流量調節器・酸素センサ）、これらを制御する CPU、および酸素を加湿する加湿器で構成されています。

ゼオライトは、アルミナや珪酸を主成分とする吸着剤で、高圧下で空気中の窒素を選択的に吸着し、低圧下でこの窒素を放出する性質を有しています。

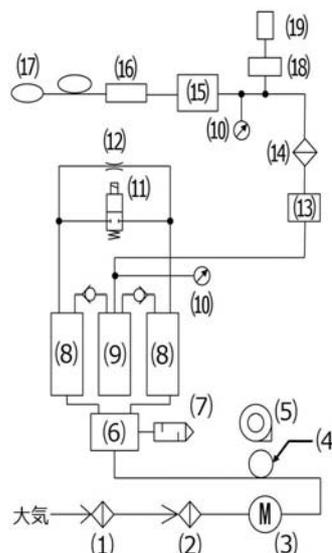
吸着筒が常に高圧状態であると吸着剤に窒素が吸着されたままとなるため、2つの吸着筒を用い圧力を高圧（吸着）と低圧（脱着）にスイングして使用します。

空気取り入れ口より取り込まれた空気は、フィルタユニットを介してコンプレッサに取り込まれます。コンプレッサで圧縮された空気により吸着筒 1 が加圧され窒素を吸着しているとき、吸着筒 2 は減圧され、装置外に窒素を排気口より放出します。同様に吸着筒 1 が減圧されている時は、吸着筒 2 が加圧されます。この回路の切り替えは電磁弁マニフォールドで行い、製品タンクが設定圧力に達すると CPU の制御信号により、電磁弁マニフォールドを切り替えます。

生成された濃縮酸素は、エアフィルタを通り加湿器を通ると加湿され、延長チューブまたはマスク、カニューラを経て患者に供給されます。患者への濃縮酸素の供給流量はマスフローコントローラ（ガス流量調節器）で設定され、LCD の設定流量表示（ガス流量インジケータ）に設定値が表示されます。

流路切替機能は、本装置が酸素供給中に停電を検出した場合に、電源異常警報を発生するとともに、自動で酸素ポンペ接続口からの流路を開放してポンペからの供給に切り替えます。また、装置異常により警報を発生するとともに酸素の生成が停止し供給が途切れた場合には、タッチパネルに切替ボタンを表示し、患者、または介護者が切替ボタンで流路の切替を選択することで、酸素ポンペ接続口からの流路を開放してポンペからの供給に切替えます。

## 空気回路



番号	名前
(1)	フィルタユニット
(2)	HEPAフィルタ
(3)	コンプレッサ
(4)	放熱器
(5)	ファン
(6)	電磁弁マニフォールド
(7)	サイレンサ
(8)	吸着筒（シープベッド）
(9)	製品タンク
(10)	圧力センサ
(11)	均圧弁
(12)	パージオリフィス
(13)	マスフローコントローラ&酸素センサ
(14)	エアフィルタ
(15)	加湿器
(16)	酸素出口
(17)	マスク/延長チューブ
(18)	流路切替
(19)	酸素ポンペ接続口

## 【使用目的又は効果】

### 使用目的

本装置は、吸着筒を用いて周囲の空気から窒素を分離することにより酸素分圧の高い空気を作り出し、在宅酸素療法を意図した療養者へ必要量の高濃度酸素ガスを連続的に供給する装置です。

主に慢性呼吸不全患者へ供給することにより予後改善を図るために使用します。

## 【使用方法等】

※1.本装置は、以下の条件を満たす場所で使用してください。

- ・直射日光の当たらない場所
  - ・傾斜が無く、振動や衝撃が加わらない安定した場所
- 2.床の保護が必要な場合は、マットを床に敷きます。
  - 3.設置場所が確定したら、キャスターをロックします。

## 使用前（操作準備）

- 1.加湿器に精製水を入れ、装置に装着します。
- 2.マスク、またはカニューラを酸素出口に取り付けます。
  - ・延長チューブを使用する場合は、延長チューブを酸素出口に取り付け、ジョイントを介してマスク、またはカニューラを取り付けます。

- 3.電源コードを接続する前に運転スイッチを押して電源異常警報を確認します。
- 4.流路切替機能を使用する場合（停電時および装置異常時に酸素ポンペから自動または手動により酸素供給を行います。）は、次の手順を続けて行います。
  - (1)酸素ポンペの酸素残量を確認します。
  - (2)酸素ポンペ接続用チューブを使用して、本装置の酸素ポンペ接続口と酸素ポンペを接続します。
  - (3)酸素ポンペ接続用チューブの両端の接続部分をパワーバンドで固定します。
  - (4)酸素ポンペ側の流量を処方箋に従い設定します。

### 使用中（操作方法）

- 1.電源コードを商用電源 AC100V のコンセントに接続します。
- 2.主電源ランプの点灯と液晶画面の表示を確認します。
- 3.運転スイッチを押します。
- 4.設定流量表示の表示を確認します。
- 5.流量設定スイッチを処方箋に従い設定します。
- 6.マスク、またはカニューラのチューブを指で潰してチューブ点検アイコンの表示を確認します。
- 7.マスク、またはカニューラを患者に装着します。

### 使用后

- 1.運転スイッチを2秒以上押しして運転を停止させます。
- 2.マスク、またはカニューラを患者から外します。
- 3.マスク、またはカニューラを酸素出口から外します。
- 4.電源コードをコンセントから外します。
- 5.加湿器を装置より取り外して、加湿器の水を捨て、洗浄・乾燥してください。
- 6.本装置を長期間使用しない場合、流路切替機能用の酸素ポンペを以下の手順で取り外してください。
  - (1)酸素ポンペのバルブを閉にします。
  - (2)酸素ポンペ接続口から酸素ポンペ接続用チューブを取り外します。

### 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1.流路切替機能は、緊急時に限定してご使用ください。電源および装置異常の回復見込みが無い場合、速やかに直接酸素ポンペから患者に酸素を供給する方法に変更してください。
- 2.流路切替機能には、次の2つの切替方法があります。
  - (1)自動切替：本装置が運転中に電源異常が発生した場合には、酸素ポンペからの流路に自動的に切り替わります。
  - (2)手動切替：本装置に異常が発生した場合、タッチパネルからの操作で流路の切り替えができます。

### 【使用上の注意】

#### 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

植込み型心臓ペースメーカ等の体内植込み型電子機器を装着している患者の場合は慎重に適用してください。

#### 重要な基本的注意

- 1.人工呼吸器に接続しないでください。  
[性能の劣化や警報が機能しない恐れがあります。]
- 2.指定の機器以外、接続しないでください。  
[本来の性能や機能が損なわれ、重大な事故を引き起こす恐れがあります。]
- \*\* \*3.アラームが発生した場合は、まず患者の状態を確認し、安全を確保してください。発生したアラームに応じて、適切な処置を行い、アラームの原因を取り除いてください。
- \*4.高濃度の酸素を吸入中に、タバコ等の火気を近づけないでください。  
[チューブや衣類等に引火し、重度の火傷や住宅の火災の原因になります。]<sup>[1]</sup>
- \*5.酸素吸入中は本装置の周囲2m以内に火気を置かないでください。また、周りの人も含めタバコを吸わないでくだ

さい。

[火傷・火災の恐れがあります。]<sup>[1]</sup>

- \*6.火気の取り扱いに注意し、取扱説明書どおりに正しく使用すれば、酸素ガスが原因でチューブや衣類等が燃えたり、火災が発生したりすることはありませんので過度に恐れず、医師の指示どおりに酸素を吸入してください。<sup>[1]</sup>
- 7.下記のような症状または異常があらわれた場合には適切な処置を行うこと。
  - ・強い息切れ、爪の変色
  - ・強い動悸
  - ・発熱
  - ・頭痛
  - ・強い眠気
  - ・痰の増加、変色
  - ・咳の増加
  - ・尿の減少、手足のむくみ
  - ・鼻、口、のどのかわき
- 8.長時間（1か月以上）使用しない場合でも、1か月に1回、24時間動作させ、アラームが発生するなど、装置に異常が無いことを確認してください。
- 9.チューブ類が患者の体の下に配置されないようにしてください。  
[チューブがつぶれて、酸素を吸入できない恐れがあります。]
- \*10.マスク、またはチューブ類を折り曲げたり、潰したりしないでください。  
[酸素を吸入できない恐れがあります。]
- 11.停電や故障等による本装置停止時、および雷等による使用中止時に、低酸素血症や酸素不足に伴う症状があらわれることがあります。  
[酸素ポンペ等のバックアップ機器を備え付けてください。]
- 12.本装置の周囲では小型無線機器などは電源を切るか、電波の影響の無い距離に置いてください。  
[小型無線機器などが発生する電波により本装置が誤動作する恐れがあります。]
- 13.ラジオやテレビから1m以上離してください。
- 14.EMC（電磁的両立性）に関して、本装置の電磁環境下の能力は、安全規格 JIS T 7209（2007）および JIS T 0601-1-2（2012）の要求事項に適合しています。しかし、本装置の周囲に限度を超えた強い電磁波や磁界、静電気などが存在すると、誤動作を起こすことがあります。装置の使用中に意図しない誤動作が発生した場合には電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。次に一般的な原因と対策の一例を挙げます。
  - (1)静電気による影響
    - ・乾燥した環境（部屋）では静電気の放電が起こりやすくなりますので部屋を加湿してください。
  - (2)落雷などによる影響
    - ・近くで雷が発生した場合、過大な電圧が装置に誘起されることがあります。万が一に備え、酸素ポンペに切り替えてください。
  - (3)高周波雑音による影響
    - ・コンセントを伝わって、他の機器から高周波雑音が混入する場合、雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策してください。
    - ・雑音源が停止できる機器であれば、その使用をやめてください。
    - ・他のコンセントから電源をとってください。
- \*15.マスク、またはチューブ類の取り外しは、チューブを持って引くなど、無理な力をかけないでください。  
[マスク、またはチューブ類の破損につながる恐れがあります。]
- \*16.マスク、またはチューブ類に傷、破れ、折れ曲がりなど無いことを確認してください。
- 17.カーテンなど、空気取り入れ口を防ぐ恐れのある物から離してください。
- 18.本体の上に物を置いたり、座ったりしないでください。
- 19.本体と床面の間に物を入れないでください。
- 20.同じ部屋で超音波式の加湿器を使用しないでください。

- 21.付近に火災が発生した場合は、直ちに運転スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてから、安全な場所に退避してください。
- 22.この装置を廃棄する場合は、必ず、緊急連絡先に連絡してください。
- 23.電源の電圧・周波数・電源入力に注意して設置してください。
- 24.本装置（背面及び側面）と壁面は 15cm 以上離してください。
- 25.電源の延長コードは使用しないでください。
- 26.使用中は、装置をいかなる物でも覆わないでください。
- 27.本装置を長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。
- \*28.運転スイッチで運転を停止してから電源コードを抜いてください。  
[本装置に酸素ポンペを接続しているときに電源コードを先に抜くと、本装置が停止中も流路切替機能により酸素ポンペから酸素が供給され、ポンペが空になる可能性があります。]
- 29.流路切替機能（酸素ポンペ接続口を経由して酸素ポンペから酸素を供給する機能）は、接続した酸素ポンペからの酸素供給を保証しているものではありません。停電および装置異常の場合、本装置では酸素供給を監視することができませんので、電源や機器の異常時には患者への酸素供給状況の確認を必ず行ってください。また、この確認は継続的に行ってください。
- \*30.本装置に接続した酸素ポンペと別に緊急用酸素ポンペを用意してください。
- 31.加湿器には精製水を使用してください。
- 32.加湿器のふたを正しく閉め、加湿器を本装置本体にカチッと音がしてロックされるまで押し込んでください。
- 33.精製水の水位が加湿器のボトルの、下の目盛りまで下がったら、補充してください。
- 34.1 日以上装置を使用しないときは、加湿器のボトルに残っている精製水を捨てて、加湿器のボトルを乾燥させてください。
- 35.本装置を使用する前に、装置が正常でまた安定に動作することを確認してください。
- \*36.本装置を使用する前にマスク、またはカニューラなどが正しく接続されていることを確認してください。
- \*37.処方通りの流量以上にならないように注意してください。
- \*38.化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所には設置しないでください。
- \*39.水のかかる場所、加温加湿器からの加湿空気が直接本装置にかかる場所には設置しないでください。
- \*40.ホコリ、タバコの煙、線香の煙、油の煙（台所など）、アンモニアの多いところには設置しないでください。

## 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

### 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称	臨床症状・処置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）	使用禁止	*MRI 装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。
*電気手術器（電気メス）	*使用禁止	*電気メスから発生する高周波エネルギーによって本装置が誤動作したり、故障したりする恐れがあります。また、マスク、またはチューブ類周辺が高濃度酸素雰囲気となっていることがあり、爆発または延焼の恐れがあります。

## 併用注意（併用に注意すること）

他の医療機器と併用するときは、併用する医療機器の添付文書、取扱説明書を確認し、影響の有無を確かめてからご使用ください。  
[性能の劣化や警報が機能せず、医療事故につながる恐れがあります。]

## 【保管方法及び有効期間等】

### 保管方法

#### 1.保管環境

本装置は下記の場所には保管しないでください。

- ・化学薬品の保管場所
- ・ガスの発生する場所
- ・水のかかる場所
- ・高温多湿な場所
- ・加温加湿器の加湿空気が直接本装置にかかる場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・傾斜、振動、衝撃など不安定状態の場所

#### 2.保管条件

本装置は下記の範囲で保管してください。

- ・保存温度：-10℃～60℃
- ・保存湿度：10%～95%RH（結露無きこと）

### 耐用期間

- \* 耐用期間：6年 [自己認証（当社データ）による]
- ・所定の定期メンテナンス、点検、校正等が適切に行われた場合の標準的な耐用期間です。

## 【保守・点検に係る事項】

### 使用者による保守点検事項

#### 日常の点検とお手入れ

- \*\* \* 取扱説明書に従い、日常の点検は毎日実施してください。
- \* 正しく設置されていることを確認してください。
- \* 汚れが目立ったら、本体外装をかわいた布か、よくしぼった布で拭いてください。
- ・酸素ポンペ接続口に接続している酸素ポンペの酸素残量を確認してください。
- ・酸素ポンペのバルブが開いていて、処方通りの流量に設定され酸素ガスが供給されていることを確認してください。
- ・酸素ポンペ接続用チューブの接続とチューブの折れ等が無いことを確認してください。
- \* 1週間に1回、必ず加湿器を洗浄してください。
- ・加湿器のふたや加湿器のボトル、ボトルの O リングに傷や変形が無いことを確認してください。
- ・詳細は、本装置の取扱説明書「メンテナンス」をご覧ください。

### 注意事項

- ・本装置の外筐を開けないでください。
- ・液体が機器内部に入らないようにしてください。
- ・本体や付属品の掃除で、アルコールや漂白剤を使用しないでください。
- ・加湿器は、煮沸消毒しないでください。
- \* 患者の交代の際は交換する部品があります。詳細は最寄りの販売会社や営業所、緊急連絡先までお問い合わせください。

### 業者による保守点検事項

- \* 定期点検、およびオーバーホールは故障や事故を未然に防ぎ、安全性・有効性を維持するために不可欠な作業です。
- \* 定期点検、およびオーバーホールの内容は記録してください。
- \* 定期点検、オーバーホール、定期交換部品の詳細は最寄りの販売会社や営業所、緊急連絡先までお問い合わせください。

#### **定期点検**

- ・ 3 か月に一度、装置や付属品の損傷、動作状態をチェックしてください。
- ・ すべてのラベルが確実に判読できることを確認してください。
- ・ ダストボックスに溜まっているごみを捨ててください。

#### **オーバーホール**

- ・ 稼働時間 15,000 時間ごとに実施してください。

#### **定期交換部品**

- ・ この機器の安全性、機能、性能などの信頼性を維持するために、定期的に交換の必要な部品があります。

### **【主要文献及び文献請求先】**

#### **主要文献**

\*[1]: 在宅酸素療法における火気の取扱いについて、薬食安発第 0115 第 1 号、

#### **文献請求先**

フクダ電子株式会社  
東京都文京区本郷 3-39-4  
03-3815-2121(代)

### **【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者

- ・ フクダ電子株式会社
- ・ 03-3815-2121(代)

緊急の連絡先

- \* ・ 機器に貼付してある連絡先